

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年4月

計画の名称	38 氷見市における道路構造物の適確な維持管理の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	氷見市
計画の目標			

老朽化した道路構造物を中心に点検・計画策定・修繕を進め、市民が安全で安心して通行することのできる道路環境づくりを行う。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・橋梁の長寿命化修繕計画に基づく対策率を0%（H25）から44%（H29）へ上昇させる。
- ・橋梁以外の道路構造物についても修繕計画を策定し、対策率を0%（H25）から75%（H29）へ上昇させる。

定量的指標の定義及び算定式

（氷見市道における橋梁の長寿命化修繕計画に基づく対策率）＝（対策済み箇所数）／（要対策箇所数）

（氷見市道における橋梁以外の道路構造物の修繕計画に基づく対策率）＝（対策済み箇所数）／（要対策箇所数）

全体事業費	合計 (A+B+C)	694 百万円	A	689 百万円	B	0 百万円	C	5 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.7%
-------	---------------	------------	---	------------	---	----------	---	----------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
氷見市	令和2年9月
	公表の方法
	氷見市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
											H25	H26	H27	H28	H29			
氷見処理区																		
38-A1-1	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(他) 鞍川稲積線他 御用橋他	15m以上橋梁補修 L=2.15km	氷見市						232	—	
38-A1-2	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(他) 磯辺針木線他226路線 防村橋他	15m未満橋梁補修 L=1.63km	氷見市						317	策定済	
38-A1-3	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(1) 堀田海老坂線他 上田子他	舗装補修 L=4.00km	氷見市						15	—	
38-A1-4	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(他) 御座町地藏線他 地藏町他	側溝修繕 L=1.40km	氷見市						10	—	
38-A1-5	道路	雪寒	氷見市	直接		市町村道	雪寒	(他) 向島湊線他 比美町他	消雪施設更新 L=1.61km	氷見市						15	—	
38-A1-6	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	修繕	(他) 堀田五十里線他292路線 堀田他	道路照明等補修 21基、トンネル補修 6基	氷見市						10	未策定	
38-A1-7	道路	一般	氷見市	直接		市町村道	計画・調査	(他) 道路構造物点検調査 市内一円	道路構造物点検(橋梁、トンネル、BOXカルバート) 1式	氷見市						90	未策定	
											合計	689						

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
38-C1-1	計画・調査	一般	氷見市	直接		計画・調査	路面性状調査	道路ストック総点検等	氷見市						1	
38-C1-2	計画・調査	一般	氷見市	直接		計画・調査	トンネル点検調査	道路ストック総点検等	氷見市						3	
38-C1-3	計画・調査	一般	氷見市	直接		計画・調査	道路のり面工等調査点検	道路ストック総点検等	氷見市						1	
合計														5		
番号 一体的に実施することにより期待される効果														備考		
38-C1-1	氷見市が管理する道路の路面性状調査を実施し、（1）堀田海老坂線他の舗装補修（38-A1-3）を計画的に進めることにより、安全な道路交通確保を図る。															
38-C1-2	氷見市が管理する道路にあるトンネルの調査・点検を実施し、（他）鞍川稲積線他（38-A1-1）と併せて道路構造物の適格な維持管理を行い、安全な道路交通確保を図る。															
38-C1-3	氷見市が管理する道路の法面工等の調査・点検を実施し、（他）鞍川稲積線他（38-A1-1）と併せて道路構造物の適格な維持管理を行い、安全な道路交通確保を図る。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路施設調査の結果をもとに、安全な道路交通の確保のため道路施設の補修工事を実施してきた。 補修が完了した箇所についてはその後の点検があったものについては結果の改善が見られ、長寿命化の効果があったものと考えられる。 長寿命化計画に基づき予定通り年毎の対策を実施してきているが、補修が必要箇所が多く年間の作業量にも限界があるため、全体の対策完了までにはまだ時間がかかる見込みである。														
II 定量的指標の達成状況	氷見市道における 橋梁の長寿命化 修繕計画に基 づく対策率	最終目標値	44.0%	目標値と実績値 に差が出た要因											
		最終実績値	44.0%												
II 定量的指標の達成状況	氷見市道における 橋梁以外の道路構 造物の修繕計画に 基づく対策率	最終目標値	75.0%	目標値と実績値 に差が出た要因											
		最終実績値	75.0%												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															

3. 特記事項（今後の方針等）

道路施設に関する点検について、次回の点検での結果をもとに改めて修繕計画を見直し、補修の優先順位の高いものから順次対策を実施していく。